

No.	020	—	2001	事務事業名	救急法普及に関する事務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	消防課	係名	救急係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	東温市民及び東温市に就業している者。				根拠法令	消防法						
	事業の目的	最終的	大幅な救命率の向上を図るためには、だれでも救命の応急手当ができるようになる必要があります。			今年度	昨年度から新しい心肺蘇生法となり市民の要望に応じて、これからも講習会を実施します。						
	活動内容	①	救急法の指導員や普及員の養成を行います。			④	上記以外にも短時間の講習会を開催し救命法の普及を図ります。						
		②	上級救命講習(8時間)を開催し救命法の普及を図ります。			⑤							
		③	普通救命講習Ⅰ(3時間)普通救命講習Ⅱ(4時間)を開催し救命法の普及を図ります。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		普及員講習	回数	参加者数	回・人	目標	1回 15人	1回 15人	1回 15人	100人(累計)			
実績						2回・再講習 21人	0回 0人						
上級救命講習		回数	参加者数	回・人	目標	1回 20人	1回 20人	1回 20人	1000人(累計)				
					実績	2回 61人	2回 60人						
普通救命講習		回数	参加者数	回・人	目標	50回 800人	50回 800人	50回 800人	10000人(累計)				
	実績				23回 545人	43回 782人							
予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費				
DO	直接事業費	平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考								
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	139千円	79千円	75千円								
	計(A)	139千円	79千円	75千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.430人 2,597千円	0.374人 2,262千円	0.483人 2,943千円									
	臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円									
全体事業費(A+B)		2,736千円	2,341千円	3,018千円									
一次評価者	救急係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	致命的な傷病者を救命するためには、バイスタンダーによる救命処置が欠かせないため、心肺蘇生法やAEDの正しい使用法を学習することは救命率向上のために必要です。												
有効性	救急法については市民の関心も高く、市民による救命処置の実施やAEDの使用法が普及してきています。												
達成度	消防本部では救急法の受講希望者には全員実施しています。また救急の日や、健康フォーラムなどのイベントを通じ、普及を図っています。												
効率性	女性消防団員を指導員として養成し、今年度は再講習を実施し指導員の負担軽減を図っています。												
当面の課題	昨年度から新しい救急法の指導となり、市民からのニーズはこれからも増加すると予想されたため、老朽化した指導用並びに訓練用資器材の更新と指導員の養成が必要となっています。												
改画	平成22年度より、耐用年数が経過した訓練人形を更新する購入計画を立て、今年度も更新をしています。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	救命率を高めるためには、市民に対して心肺蘇生やAEDの使用法などの応急手当法の普及を図る必要があり、指導者の養成と質の向上は不可欠ですので、継続して事業を実施してください。												

No.	020	—	2004	事務事業名	愛媛大学・東温市医師会との連携業務に関する事務及び業務			細事務事業名		公的関与	2		
PLAN	課名	消防課		係名	救急係		電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	東温市民及び市内就業者。					根拠法令	消防法					
	事業の目的	最終的	脳卒中患者や救急搬送が必要な傷病者に対して、適切な医療・治療が提供出来るようにします。				今年度	平成20年度に、愛媛大学医学部附属病院と東温市の間で調印しました「脳卒中救急患者搬送に関する業務」を今年度も継続します。					
	活動内容	①	東温市脳卒中救急患者搬送連絡協議会に関する事務・症例検討会等を行います。				④	医学祭への協力や教育学部学生の消防署研修を受け入れています。					
		②	東温市と東温市医師会の主催する健康フォーラムに参加します。				⑤	医学部学生の救急医療に関する研究に協力しています。(社会医学実習)					
		③	愛媛大学医学部研修医や新任看護師に対して救命処置の指導を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標		
		東温市脳卒中救急患者搬送連絡協議会と検討会		年 1回			回	目標 1回	1回	1回	年 1回		
東温市と東温市医師会の主催する健康フォーラム参加		年 1回			回	目標 1回	1回	1回	年 1回				
						実績 会議1回・検討会1回・研修視察1回	会議1回・検討会2回						
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	100千円	100千円	100千円								
	計(A)	100千円	100千円	100千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.122 人	737千円	0.127 人	768千円	0.131 人	798千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0千円	0.000 人	0千円	0.000 人	0千円					
	全体事業費(A+B)		837千円	868千円	898千円								
一次評価者	救急係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	東温市にとって、愛媛大学医学部や東温市医師会との連携協力を継続して行くことは、救急医療体制の充実と安心につながっています。												
有効性	医療機関との連携によって住民サービスの向上につながっています。												
達成度	救急業務は、医療機関との連携が良好で、有効に実行されていますが、当初から愛大脳卒中センター受入れ時間に時間制約等が続いており苦慮しています。												
効率性	緊急性・重症時の近隣医療施設での対応に関して、適正で効率的にできています。												
当面の課題	若手検討グループ再検討結果において「低コストで一定の成果が得られているため、今後も拡大・充実していく必要あり」との回答でしたが、当初から愛大脳卒中センターの救急体制は医師不足等による患者受入れ時間に制約があるため、24時間の受入れ体制を図るとともにリハビリを含めたトータル的な治療体系を構築する必要があります。												
改革計画	医師確保等が厳しい現状で、更なる連携強化に努めるには、市からも大学へ医師の確保支援の拡充が必要であります。また、医師会との協力体制が今後も必要であり、事業成果を東温市民へ還元するため脳卒中の市民公演を来年度計画しています。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	脳卒中(脳梗塞)の救急医療は早期に発見され早期に治療が開始できれば、救命して社会復帰が可能なことが多い病気であるので、救急隊・愛媛大学医学部・地域の医療機関が協力して協力体制を構築し発展していくように努めてください。												